

Title	聖学院大学大学院・総合研究所教員活動報告書(2009年度)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.20-2 : 24-33
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2420
Rights	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書（2009年度）

もり た み ち よ
森田美千代

現職位：教授（2010年4月1日就任）

本学への就任：2000年4月1日

最終学歴：

1999年10月 ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了

取得学位：

1972年3月 教育学修士（国際基督教大学）

1990年5月 神学修士Master of Theological Studies（ドルー大学）

1998年5月 哲学修士Master of Philosophy（ドルー大学）

1999年10月 Ph.D.（ドルー大学）

所属学会：American Academy of Religion（1997年～）、アメリカ学会（2000年～）、日本キリスト教教育学会（2000年～）、初期アメリカ学会（2001年～）

担当科目：アメリカ文化学研究F（大学院、マーティン・ルーサー・キング研究）、アメリカ文化学特殊研究（大学院、博士論文指導）、研究方法特論I・II（大学院、研究の基本である「書

く力」の指導）、キリスト教とアメリカ文化A・B（学部、ハリエット・ピーチャー・ストウ研究）、キリスト教教育論A（学部、主としてホーレス・ブッシュネルのキリスト教教育論）

学生指導：大学院生の研究上の問題を、時間をかけて個人指導した。

専門分野：アメリカのキリスト教と文化

研究テーマ：マーティン・ルーサー・キング研究、ハリエット・ピーチャー・ストウ研究、ホーレス・ブッシュネル研究

研究内容：キングに関しては、彼のリーダーシップの源泉について研究を進めている。ストウに関しては、『アंकル・トム的小屋』の登場人物の一人であるオーガスティン・セント・クレアに焦点を当てて読むと、これまでとは違った研究ができるのではないかという仮説のもとに、研究を進めている。ブッシュネルに関しては、主として女性論と教育論の研究を進めている。

研究業績（2009年度〈2009/4～2010/3〉）

下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
翻訳	『キリスト教養育』(単)	教文館	ホーレス・ブッシュネルの <i>Christian Nurture</i> の翻訳	2009.5
教授資格論文	「ホーレス・ブッシュネル研究—『キリスト教養育』をめぐって—」(単)	聖学院大学総合研究所に提出	Habilitationとして、聖学院大学総合研究所に提出した論文である。ブッシュネルの主著である『キリスト教養育』を多角的に論じている。	2009.12
論文	「なぜ日本にキリスト教教育が必要なのか」(単)	『聖学院大学総合研究所紀要』No.45、73-89頁。		2009.9
エッセー	「マーティン・キング牧師生誕八十年を覚えて」(単)	『本のひろば』	キング牧師は、神に祈りつつ、ヴィジョンを指し示すことができ、さらにそのヴィジョンを裏切らない方法によって、ヴィジョンの実現へと人々を導いていくことができた、優れた指導者であった。	2009.11

ふじ わら あつ よし
藤原 淳 賀

現職位：教授（2010年4月1日就任）

本学への就任：2004年4月1日

最終学歴：

1989年3月 慶應義塾大学大学院

1994年5月 Golden Gate Baptist Theological Seminary

1999年7月 University of Durham

取得学位：

1989年3月 教育学修士（慶應義塾大学）

1994年5月 Master of Divinity (Golden Gate Baptist Theological Seminary)

1999年7月 Doctor of Philosophy (University of Durham)

所属学会：American Academy of Religion, 1996-、
日本基督教学会2001-、日本福音主義神学会、

2004-、日本宗教学会, 2005-、日本宣教学会、
2005-、Society of Christian Ethics, 2006-、
Society for Study of Christian Ethics, 2008-

担当科目：キリスト教概論A、キリスト教概論B、
キリスト教信仰と文化、キリスト教と物語

専門分野：キリスト教組織神学、キリスト教社会
倫理学

研究テーマ：文化の神学、教会論

研究内容：キリスト教信仰の社会的関わりを大き
な意味での研究課題としている。現在は、キ
リスト教の独自性と、広く非キリスト教世界に
も適用可能なキリスト教倫理（人権、民主主
義、平和の維持）とを結ぶ理論的土台をキリ
スト論のうちに見出すことを課題としている。

研究業績（2008年度〈2008/4～2009/3〉）
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概要	刊行・ 発表年月
Aa 著書	「3章 ジョン・ハワード・ヨーダの神学: その重要性と課題」、『ジョン・H・ヨーダの神学: 平和を作り出す小羊の戦い』	新教出版社.	ヨーダの思想的背景と方向性を紹介し、リベラル・根本主義のパラダイムを越えたラディカルな現代における貢献を論じる。同時にヨーダ神学の内包する問題点を指摘し、聖書の現実主義とキリスト教現実主義との架け橋の重要性を指摘している。ヨーダ神学に関する日本人神学者による初の単行本。	2010.2.26
Bb 学術論文	「ジョン・ヨーダの教会論」	『聖学院大学総合研究所紀要』44	ヨーダの神学を紹介し、特にその教会論を考察する。またその排他性を問題点として指摘している。	2009.3.30
F 学会発表	「宣教の基礎理解としての神の自由と限界状況: カール・バルトとジョン・ハワード・ヨーダにおける戦争理解」	日本宣教学会	軍事介入が問題となるような場面を念頭に置きつつ、限界状況、神の自由を論じ、キリスト教倫理のあり方を論じる。	2009.6.27
G 解説	「解説」A・マクグラス著『聖餐: その歴史と実践』	キリスト新聞社		2010.2.25
G 解説	「解説」A・マクグラス著『アリスター・E・マクグラス 宗教教育を語る』	キリスト新聞社		2010.2.25

区分	題名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概要	刊行・ 発表年月
E 翻訳	A・マクグラス著『聖餐:その歴史と実践』	キリスト新聞社	2008年のマクグラス来日講演の全訳。聖餐の歴史的理解と、誰が聖餐に与るべきかという今日の問題も扱っている。	2010.2.25
A 編著	Editor. "A Theology of Japan" and the Theology of Hideo Ohki. A Theology of Japan Monograph Series 4.	Seigakuin Univ. Press	大木英夫教授の神学と聖学院における「日本の神学」のプロジェクトを紹介し、西洋からの応答を含めている。	2009
Aa 著書	"Professor Hideo Ohki and the Project of a 'Theology of Japan'"	"A Theology of Japan" and the Theology of Hideo Ohki. A Theology of Japan Monograph Series 4. Seigakuin Univ. Press. 2009. pp. 32-65.	大木英夫教授の「日本の神学」の試みを歴史的、神学的に紹介、考察、評価している。	2009
G 序文	"Foreword"	"A Theology of Japan" and the Theology of Hideo Ohki. A Theology of Japan Monograph Series 4. Seigakuin Univ. Press. 2009. pp. 7-9.		2009
G 評論	「文化の神学40『教会の具体性3』」	『形成』No. 459, pp. 14-15.		2009.4
G 評論	「文化の神学41『教会の具体性4』」	『形成』No. 460, pp. 14-15.		2009.5
G 評論	「文化の神学42『教会が真に教会となる時:社会への創造的交わり』」	『形成』No. 461, pp. 14-15.		2009.6
G 評論	「文化の神学43『教会論:「徳の共同体」とアーミッシュの9・11』」	『形成』No. 462, pp. 14-15.		2009.7
G 評論	「文化の神学44『教会論9:人格と徳の共同体』」	『形成』No. 463-4, pp. 14-15.		2009.9
G 評論	「文化の神学45『教会論10:コンスタンティヌスの反転』」	『形成』No. 465, pp. 14-15.		2009.1
G 評論	「文化の神学46『コンスタンティヌスのキリスト教を超えて』」	『形成』No. 466, pp. 14-15.		2009.11
G 評論	「文化の神学47『教会論12 イエスと他の権威』」	『形成』No. 467, pp. 14-15.		2009.12

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
G 評論	「文化の神学48『キリスト者になるということ：神中心の世界観への転換と継続的生き方』」	『形成』No. 468-9, pp. 14-15.		2010. 1
G 評論	「文化の神学49『キリスト者になるということ：神の国のパラダイムにおける生』」	『形成』No. 470, pp. 14-15.		2010. 3

まつ たに よし あき
松谷好明

現職位：特任教授

本学への就任：2002年10月1日

最終学歴：

1967年3月 一橋大学社会学部卒

1970年2月 神戸改革派神学校3年中退

1972年9月 英国Bristol University 大学院 (Diploma
コース1年間) 修了

1972年9月 英国Trinity College Bristol 神学校 (特
別研究生) 2年間

取得学位：

1973年6月 Diploma in Theology

2005年3月 Ph.D. ((聖学院大学))

所属学会：日本ピューリタニズム学会 (2006年～)

担当科目：近代社会とピューリタニズムA、近代
社会とピューリタニズムB

専門分野：歴史神学

研究テーマ：ピューリタンの歴史と神学、長老教
会史

研究内容：ウェストミンスター信仰告白の歴史
的、教理的注解、ウェストミンスター信仰告
白の影響史

研究業績 (2009年度 (2009/4 ~ 2010/3))

下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
E 翻訳	キリスト教と民主主義	新教出版社		2010. 2. 28
F 学会発表	信仰の継承—ブッシュネル『キリスト教養育』を中心に	日本基督教団群馬地区壮年部講演		2009.10.12
F 学会発表	ピューリタンと祈禱書問題	聖学院大学総合研究所ピューリタニズム研究会発表		2010. 2. 23
G 評論	The Cambridge Companion to Puritanism	「ピューリタニズム研究」第4号		2010. 2. 28

ディーン ウォレン サザデン
Dean Warren Sotherden

現職位：准教授

本大学への就任：1997年4月1日

学歴：

1982年7月 Ohio University

1983年7月 U.S. Defense Language Institute

1983年12月 U.S. Military Intelligence School

1997年5月 Temple University

取得学位：

1982年6月 B.A. (Cum Laude) Anthropology
(Ohio University)

1997年5月 M.Ed. TESOL (Temple University)

担当科目：English/ Seigakuin Junior and Senior

High School

学生指導：I am conducting TOEIC training through TOEIC Taisaku Zemi and classes. I am teaching English in various classes including two Special English Classes.

専門分野：EFL Education and the TOEIC

研究テーマ：TOEIC preparation and Second Language Acquisition

研究内容：I am researching the ways that students can raise their TOEIC scores and communicate fluently in English.

研究業績 (2009年度)

下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
D 研究 ノート	TOEIC Training Report	Newsletter 19-1, Seigakuin University General Research Institute		2009. 7. 30

ふじ かけ あきら
藤 掛 明

現職位：准教授

本学への就任：2003年4月1日

最終学歴：

1982年3月 大東文化大学文学部

所属学会：日本犯罪心理学会 (1982年～、2003年理事～)、日本矯正医学会 (1982年～)、日本心理臨床学会 (1986年～)、日本描画テスト描画療法学会 (1990年～、1990年～評議員 (理事)、2004年～常任理事、2009～副編集委員長)、東京臨床心理士会 (2003年～)、日本臨床死生学会 (2005年～)、日本福音主義神学会 (2006年～)

担当科目：青年心理学 (教養)、キリスト教カウンセリング論 (キリスト教関連科目)、キリスト教とカウンセリング1、キリスト教カウンセリング事例研究 (福祉学研究科)、カウ

ンセリング入門・精神医療とカウンセリング、同ライフコースとカウンセリング (聖学院大学生涯学習センター)、映画に学ぶカウンセリング・マインド (けんかつオープンカレッジ)

学生指導：修士課程学生への研究指導 (補助)

専門分野：臨床心理学

研究テーマ：心理テスト、心理療法、非行カウンセリング、キリスト教カウンセリング

研究内容：雨の中の私画テストの検証、適用に関する研究。非行をはじめ、依存やハラスメント等行動化型のクライアントに対するカウンセリングの実践と研究。キリスト教牧師のメンタルヘルスや牧会カウンセリング活動の調査、分析に関わる研究。

研究業績 (2009年度 (2009/4～2010/3))

下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
著書	ありのままの自分を生きる・背伸びと息切れの心性を越えて	一麦出版社	臨床心理学の観点から、様々な不適応行動とその対処法、および信仰との関係について考察した。	2009,05
学術論文	日本のプロテスタント牧師の疲弊研究	「聖学院大学総合研究所紀要」47号	牧師の疲弊要因を因子分析で類型化し、典型事例を検討した。衣笠詩子との共同執筆。	2010,03
学会発表	コラージュ療法のいろいろ	日本描画テスト・描画療法学会第19回大会ワークショップ講師	コラージュ療法の変法として、ハガキコラージュなど、その概要の講義と演習指導。	2009,09
評論	「自分の弱さと限界を認める」ことを考える(5) 中年期のレッスン	「牧会ジャーナル」第43号、いのちのことば社	中年期の質的転換の諸相を解説した。	2009,06
評論	「自分の弱さと限界を認める」ことを考える(6) 人生の宿題	「牧会ジャーナル」第46号、いのちのことば社	人生の後半期に、未解決な発達課題に直面させられることを解説した。	2010,03
評論	「自分の弱さと限界を認める」ことを考える(7) 人生の統合	「牧会ジャーナル」第45号、いのちのことば社	人生の後半期における「もう一人の自分」問題について、それを統合していく必要性を説いた。	2009,12
評論	心理臨床家は、いかに育てられ、いかに守られるか	「牧会ジャーナル」第43号、いのちのことば社	牧会の参照枠として、心理臨床における各種の倫理事項を取り上げ、解説した。	2009,06
評論	「つなげる」ことは大切	クリスチャン新聞オピニオン、2009,08、いのちのことば社、	過去の体験の受け止めや自己内省などにおける「統合」の重要性について説いた。	2009,08
書評	ライフスキルで人生を考える	クリスチャン新聞、2009,06、いのちのことば社	書評	2009,06
書評	牧師とその家族のメンタルケア	クリスチャン新聞、2010,03、いのちのことば社	書評	2010,03

たけぶちかおり
竹 浏 香 織

現職位：助教

本学への就任：2005年4月1日

最終学歴：

1996年3月 聖学院大学人文学部児童学科 卒業

1999年3月 聖学院大学大学院政治政策学研究所
修了

取得学位：

1996年3月 人文学学士（聖学院大学）

1999年3月 政治政策修士（聖学院大学）

所属学会：日本発達心理学会（1998年～）、日本
学校心理学会（2000年～）、日本嗜癡行動学
会（2003年～）、日本心理臨床学会（2004年
～）、日本描画テスト・描画療法学会（2005

年～）、日本発達障害学会（2006年～）

担当科目：自由学園非常勤講師 「心理学」担当
人間の健康な発達と疾患や障害、不適応など
について概観する。

学生指導：学生相談室にてカウンセリング業務（週
2日）、FO、学生部オリエンテーション等で
心理教育担当

専門分野：臨床心理学

研究テーマ：青年期発達障害、学生相談

研究内容：・青年期の発達障害について、特に支
援体制を構築を目指す。・離学者分析。・学生
相談での面談、アセスメント方法について。

研究業績（2008年度〈2008/4～2009/3〉）
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概要	刊行・ 発表年月
F 学会発表	青年期発達障害 －学生相談から－	群馬県発達臨床心 理士会	青年期独自の困難、不適応状態等につ いて、臨床の場から紹介。	2009.11

ブライアン バード

Brian Byrd

現職位：Instructor

本学への就任：2003年4月1日

最終学歴：

2007年4月 Seigakuin University Graduate School
Ph.D. Course (date entered; currently
in progress)

1984年5月 Yale University Divinity School

1981年5月 Pomona College

取得学位：

1984年5月 Master of Divinity Yale University
Divinity School

1981年5月 Bachelor of Arts in Economics
Pomona College

所属学会：Phi Beta Kappa National Honor Society
（1981 to present）、Japan Association of
Language Teachers（2003 to present）、
Japanese Association for the Study of
Puritanism（2006 to present）、Kagawa
Research Association（2007 to present）、

Japanese Association for the Study of
Christianity（2008 to present）

担当科目：Director of Seigakuin Elementary School
English Program (Grades 1, 2, and 6
teacher), Seigakuin Kindergarten English
Teacher, II Director of Seigakuin Kids English
Program

学生指導：Member of Chaplain Committee, Seigakuin
Mission Band Organizer

専門分野：Modern Japanese History, Biblical
Studies, Elementary School English Education

研究テーマ：1. Kagawa Toyohiko and post-WWII
Japanese history 2. Elementary School English
Education and Japanese Culture

研究内容：1. Impact of Kagawa on post-WWII
Japanese society and church 2. Use of
Japanese folk literature and art forms in
teaching English to children

研究業績：（2009年度〈2009/4～2010/3〉）
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概要	刊行・ 発表年月
F 学会発表	Content-based English in the elementary school	JALT 2009 National Conference (joint)	Taught topics from regular elementary school classes using English	November 2009
F 講演	Teaching Japanese Culture Using English	Ninth Annual Seminar for Teachers of English to Children, Seigakuin University (埼玉県教育委員 会後援) (joint)	Introduced the <i>Momotaro</i> story using <i>kamishibai</i> , <i>karuta</i> , chants, and songs (article with photo in <i>Daily Yomiuri</i> and <i>Yomiuri Shimbun</i>)	July 2009
F 講演	How to teach English in elementary school	Seigakuin University General Research Institute Teacher Training Seminar for Elementary School Teachers (埼玉県 教育委員会後援) (joint)	Use of songs, stories, and original chants to teach children English	May 2009
F 講演	Preparing teachers for the next day's lesson	Seigakuin University General Research Institute Teacher Training Seminar for Elementary School Teachers (埼玉県 教育委員会後援) (joint)	Preparing teachers of English to more effectively reach students	October 2009
F 講演	Engaging young English learners	Tokyo Metropolitan Yoga Elementary School Teacher Training Seminar(joint)	Techniques and materials that can inspire English learners	July 2009
D 報告	Seigakuin Incoming Freshman Orientation and Study Program	SGRI Newsletter Report Vol. 19- 2 (joint)	Using group work, music, chants, and games to introduce culture in English	November 2009
D 研究 ノート	Care for the Aging: A Visit to Beijing	SGRI Newsletter Vol. 19- 3	Discussion of current issues facing China in regards to its aging population	November 2009
D 研究 ノート	Preparing for the introduction of English as a regular subject in public elementary schools	SGRI Newsletter Vol. 19- 4 (joint)	Issues facing teachers, and approaches to teacher training	February 2010
D 研究 ノート	Reflections on Elementary School Teacher Training Seminar	SGRI Newsletter News Vol. 19- 4 (joint)	Recap of seminar, reflecting on needs to address in future sessions	February 2010

ふじ わら ま ち こ
藤原真知子

現職位：特任講師

本学への就任：2003年4月1日

最終学歴：

1976年5月 Ottawa University

取得学位：

1976年5月 B.A. Ottawa University

専攻：小学校における第二外国語としての英語教授法

所属学会：JACET 全国大学英語学会（2003年～）、JALT 全国語学教育学会（2003年～）、JASTEC 日本児童英語教育学会（2003年～）、東京私立初等学校協会外国語部会（2005年～）

担当科目：聖学院小学校：英語クラス、聖学院幼稚園：英語クラス、聖学院大学総合研究所：

小学校英語指導法セミナー、キッズ英語：英語クラス

学生指導：教育実習

専門分野：早期英語教育、児童英語指導法、児童英語教材開発

研究テーマ：「英語が積極的に使える児童」の育成

研究内容：低学年からの文字指導、クロスカルチャーを取り入れた児童英語教授法、日本文化紹介を取り入れた英語教授法、コンテンツベースによる小学校英語教授法、公立小学校における英語教育と小学校教員のための英語研修

研究業績（2009年度〈2009/4～2010/3〉）
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
F 発表	こうやって教えよう 小学校英語	聖学院大学総合研究所 第1回小学校英語指導法セミナー(埼玉県教育委員会後援)(共同)	担任教員が行う英語指導 小学校外国語活動のねらい	2009年 5月
F 発表	楽しみながらリスニング力・スピーキング力が身につく歌・ゲーム・アクティビティー	聖学院大学第9回小学校教師英語指導法講座(埼玉県教育委員会後援)(共同)	児童が英語を積極的に使うようになるアクティビティーの紹介	2009年 7月
F 発表	小学校英語指導法	東京都世田谷区用賀地区英語研修会(共同)	文部科学省「英語ノート」の使い方例	2009年 7月
F 発表	担任が行う英語指導	埼玉県毛呂山町川角小学校	児童と楽しむ英語指導法の紹介	2009年 8月
F 発表	小学校英語指導法	聖学院大学総合研究所 第2回小学校英語指導法セミナー(埼玉県教育委員会後援)(共同)	日本文化を英語で紹介	2009年 10月
F 学会発表	コンテンツベースによる英語指導法	第35回JALT全国語学学会国際大会(共同)	生活科・社会科の内容を取り入れた英語指導法の紹介	2009年 11月

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
D 研究 ノート	英語指導法セミナー	聖学院大学総合研究所 ニューズレター 19-2号(共著)	2009年度に行った2回の 小学校英語指導法セミナーについて	2009年 11月
D 研究 ノート	2泊3日の国内留学 で見られた児童の英 語学習意欲の向上	聖学院大学総合研究所 ニューズレター 19-3号	5年生の児童が、英語を使って2泊 3日を過ごした様子とアンケート結 果	11月
D 研究 ノート	公立小学校英語必修 化へ向けて	聖学院大学総合研究所 ニューズレター 19-4号(共著)	2011年度から必修化される小学校英 語教育について	2010年 2月
D 報告	聖学院小学校の英語 教育	聖学院大学総合研究所 聖学院英語教育年 報2009年度(共著)	聖学院小学校、1・2・6年生、聖学 院幼稚園、年長クラスの英語教育	2010年 3月

ジャスティン ナイティンゲール

Justin Nightingale

現職位：特任講師

本学への就任：2007年4月1日

最終学歴：

1999年5月 University of North London

取得学位：

1999年5月 Computer Science (University of
North London)

2001年4月 RSA CELTA Cambridge Certificate for
Teaching ESL

担当科目：Seigakuin Primary School English
Education

専門分野：English Education and Computer
Science

研究テーマ：Early English Education

研究内容：Early English education, especially
improving reading ability.

研究業績（2009年度〈2009/4～2010/3〉）
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
D 報告	Seigakuin Elementary School 2nd Grade English Class 2010 (Brian Byrd, Machiko Fujiwara, and Justin Nightingale)	聖学院大学総合研究所 聖学院英語教育年 報2009	Teaching strategies in the first two grades of elementary school English teaching.	2009.3.20
D 報告	The Seigakuin Elementary School English Program 2010, Grades 3, 4 and 5 - Report	聖学院大学総合研究所 聖学院英語教育年 報2009	A new way to learn English using the school's computer lab.	2009.3.20